

公立病院改革プランの概要

団 体 名		福井県越前町					
プ ラ ン の 名 称		越前町国民健康保険織田病院改革プラン					
策 定 日		平成 21 年 3 月 30 日					
対 象 期 間		平成 21 年度 ~ 平成 23 年度					
病 院 の 現 状	病 院 名	越前町国民健康保険織田病院					
	所 在 地	福井県丹生郡越前町織田106-44-1					
	病 床 数	一般病床55床					
	診 療 科 目	内科・外科・整形外科・小児科・眼科・脳外科・放射線科・リハビリテーション科					
公立病院として今後果たすべき役割(概要) (注)詳細は別紙添付		地域の中核的な医療機関として、入院医療、救急医療等の提供。町と連携した健康増進事業等「保健・医療・福祉」の融合による地域包括医療の実施、地域の医療機関・介護施設等との病診・病病連携の推進により地域住民の健康増進に貢献。					
一般会計における経費負担の考え方(繰出基準の概要) (注)詳細は別紙添付		<ul style="list-style-type: none"> ・病院の建設改良費に要する経費の1/2(起債分を除く) ・病院事業債元利償還金の2/3(14年度以前分)ないし1/2(15年度以降分)相当額 ・救急医療に要する経費(特別交付税措置分相当額) ・不採算地区病院に要する経費(特別交付税措置分相当額) ・基礎年金拠出金の公的負担経費 ・児童手当経費 ・医師及び看護師等研修に要する経費(1/2) ・共済追加費用の負担に要する経費 					
経 営 効 率 化 に 係 る 計 画	財務に係る数値目標(主なもの)	19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	備考
	経常収支比率	99.1	105.0	100.0	100.9	102.2	(%)
	職員給与費比率	47.4	56.9	59.9	59.9	59.0	(%)
	病床利用率	79.5	80.5	83.6	83.6	85.5	(%)
	患者1人1日当たり診療収入(入院)	30,212	32,700	32,750	32,750	32,750	(円)
	患者1人1日当たり診療収入(外来)	11,577	7,900	7,300	7,300	7,300	(円)
	材料費比率(対医業収益比)	39.1	29.7	22.4	22.5	22.4	(%)
	医業収支比率	95.1	91.2	96.1	96.9	98.1	(%)
	実質収益対経常費用比率	92.2	88.6	92	92.9	94.3	(%)
上記目標数値設定の考え方		任意項目は、医療提供の内容を反映し患者単価に直接結びつく指標を選択した。 (経常黒字化の目標年度:21年度)					

				団体名 (病院名)	福井県越前町 (越前町国民健康保険織田病院)		
公立病院としての医療機能に係る 数値目標(主なもの)		19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	備考
入院患者数		16,010	16,169	16,790	16,790	17,202	(人・年延)
外来患者数		46,847	43,355	44,950	46,400	47,850	(人・年延)
時間外及び救急患者数		4,002	4,050	4,100	4,100	4,100	(人・年延)
紹介率		8.5	10.0	13.0	13.0	15.0	(%)
高度医療機器検査件数		1,976	2,045	2,100	2,100	2,160	(件・年延) CT、MRI
手術件数		235	212	215	215	220	(件・年延)
研修医受入数		11	11	12	14	15	(人・年延)
経営効率化に係る計画	数値目標達成に向けての具体的な取組及び実施時期						
	民間的経営手法の導入	<ul style="list-style-type: none"> ・外来投薬の院外処方化(H20～) ・可能な業務の比較検討を行い民間委託化の推進 					
	事業規模・形態の見直し						
	経費削減・抑制対策	<ul style="list-style-type: none"> ・薬品購入価格の交渉、競争入札の実施(年間100万円の削減) ・診療材料の単価比較の実施(年間100万円の削減) ・消耗品等全体的な購入方法の見直し(年間30万円の削減) ・業務委託契約について、必要数・業務内容の見直しを行い、委託経費を削減(年間80万円の削減) ・診療材料SPD委託業務の廃止(年間95万円の削減) 					
	収入増加・確保対策	<ul style="list-style-type: none"> ・マルチスライスCT導入による診療報酬増(H22～) ・亜急性期病床の見直し、開放型病床導入等による効率的なベッドコントロールを徹底(H20～) ・必要な常勤医師、医療スタッフの確保(H21～) ・健診を核とした健康増進センターにより収益を確保するとともに高度医療機器の効率的活用(年間150万円の増加・H21～) ・医療機器の計画的な更新と導入により診療報酬を確保するとともに保守、修繕費等の経費の抑制 ・診療報酬請求漏れの防止対策(H21～) ・クレジットカード決済システムの導入(H21～) ・新たな診療報酬項目の取得の推進(H21～) 					
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・診療報酬等に精通した専門事務部門の確立(～H23) ・研修環境の整備による医療スタッフの資質向上(H21～) ・待ち時間短縮に向けた体制、システムの整備(H21～) ・地域における広報活動の強化(H21～) ・他院との積極的な連携業務の推進(H21～) ・職員の意識改革(H21～) 						
各年度の収支計画		別紙1のとおり					
その他の特記事項	病床利用率の状況	17年度	84.90%	18年度	80.80%	19年度	79.50%
	病床利用率の状況を踏まえた病床数等の抜本見直し、施設の増改築計画の状況等	<ul style="list-style-type: none"> ・病床数は現状維持し、亜急性期病床等施設基準による病床利用率の向上を図る ・施設増改築は計画期間中において診療体制・形態を見極め検討を行う 					

団体名
(病院名)

福井県越前町
(越前町国民健康保険織田病院)

再編・ネットワーク化に係る計画	二次医療圏内の公立病院等配置の現況	当病院所在の丹南圏域には、199床の公立丹南病院(総合病院・救急告示病院)が開設。	
	都道府県医療計画等における今後の方向性	医療機関の適切な機能分担が図られるよう診療科目等の再編や医療機関間の連携体制を構築するネットワーク化の検討をすべきとされている。	
	再編・ネットワーク化計画の概要及び当該病院における対応計画の概要 (注) 1 詳細は別紙添付 2 具体的な計画が未定の場合は、検討・協議の方向性、検討・協議体制、検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	<時期> 平成20年10月 平成21年4月～ 平成22年度末まで	<内容> 公立丹南病院との意見交換 人工透析をはじめ適切な機能分担、医師派遣等に係る連携体制構築の協議 結論を得る予定
経営形態見直しに係る計画	経営形態の現況 (該当箇所に <input checked="" type="checkbox"/> を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 公営企業法財務適用	<input type="checkbox"/> 公営企業法全部適用 <input type="checkbox"/> 地方独立行政法人
	経営形態の見直し(検討)の方向性 (該当箇所に <input type="checkbox"/> を記入、検討中の場合は複数可)	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度	<input type="checkbox"/> 一部事務組合・広域連合
	経営形態見直し計画の概要 (注) 1 詳細は別紙添付 2 具体的な計画が未定の場合は、検討・協議の方向性、検討・協議体制、検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	<input type="checkbox"/> 公営企業法全部適用 <input type="checkbox"/> 民間譲渡 <input type="checkbox"/> 診療所化	<input type="checkbox"/> 地方独立行政法人 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> 老健施設など、医療機関以外の事業形態への移行
点検・評価・公表等	点検・評価・公表等の体制 (委員会等を設置する場合その概要)	「病院改革評価委員会」を設立し、毎年9月に改革プラン取組状況の点検・評価を行う。 [構成メンバー] 医師会代表、町議会代表、税理士、町民公募者、町関係課長、院長、副院長、看護師長	
	点検・評価の時期(毎年 月 頃等)	年1回(9月)	
その他特記事項		「病院改革評価委員会」での審議を経て、毎年度9月末までに公表 当面、現体制で改革に取り組むが、計画期間中に所期の効果が達成されない場合には、更なるプラン見直しに直ちに取り組む	

(別紙1)

団体名 (病院名)	越前町 (越前町国民健康保険織田病院)
--------------	------------------------

1. 収支計画 (収益的収支)

(単位:千円、%)

区分		年度					
		18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度
収	1. 医 業 収 益 a	1,046,101	1,078,136	926,127	934,982	946,313	970,841
	(1) 料 金 収 入	1,006,554	1,026,076	871,248	878,008	888,593	912,671
	(2) そ の 他	39,547	52,060	54,879	56,974	57,720	58,170
	うち他会計負担金	20,000	20,000	23,500	26,200	26,200	26,200
	2. 医 業 外 収 益	87,593	71,404	166,493	63,800	64,202	64,452
	(1) 他会計負担金・補助金	80,000	60,000	146,500	53,800	53,800	53,800
	(2) 国 (県) 補 助 金						
	(3) そ の 他	7,593	11,404	19,993	10,000	10,402	10,652
	経 常 収 益 (A)	1,133,694	1,149,540	1,092,620	998,782	1,010,515	1,035,293
	入	1. 医 業 費 用 b	1,144,648	1,133,780	1,015,237	972,782	976,873
(1) 職 員 給 与 費 c		503,950	511,214	527,111	559,838	566,400	572,500
(2) 材 料 費		443,321	421,304	274,662	209,900	213,000	217,100
(3) 経 費		124,695	133,549	142,106	128,851	126,627	127,572
(4) 減 価 償 却 費		68,701	65,805	68,179	70,056	60,669	69,443
(5) そ の 他		3,981	1,908	3,179	4,137	10,177	2,806
2. 医 業 外 費 用		25,856	26,105	25,537	25,668	24,265	23,173
(1) 支 払 利 息		25,856	26,105	25,537	25,668	24,265	23,173
(2) そ の 他							
経 常 費 用 (B)		1,170,504	1,159,885	1,040,774	998,450	1,001,138	1,012,594
経 常 損 益 (A) - (B) (C)		36,810	10,345	51,846	332	9,377	22,699
特別損益	1. 特 別 利 益 (D)						
	2. 特 別 損 失 (E)						
	特 別 損 益 (D) - (E) (F)						
純 損 益 (C) + (F)		36,810	10,345	51,846	332	9,377	22,699
累 積 欠 損 金 (G)		41,501	51,846		332	9,709	32,408
不良債務	流 動 資 産 (ア)	115,363	173,936	150,806	166,839	184,425	218,925
	流 動 負 債 (イ)	46,630	116,883	30,000	33,000	36,000	40,000
	うち一時借入金		110,000				
	翌年度繰越財源(ウ)						
	当年度同意等償で未借入 又は未発行の額 (エ)						
差引 不良債務 (オ)	$\{(イ)-(エ)\} - \{(ア)-(ウ)\}$						
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$		96.9	99.1	105.0	100.0	100.9	102.2
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$							
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$		91.4	95.1	91.2	96.1	96.9	98.1
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$		48.2	47.4	56.9	59.9	59.9	59.0
地方財政法施行令第19条第1項 により算定した資金の不足額 (H)							
資 金 不 足 比 率 $\frac{(H)}{a} \times 100$							
病 床 利 用 率		80.8	79.5	80.5	83.6	83.6	85.5

団体名 (病院名)	越前町 (越前町国民健康保険織田病院)
--------------	------------------------

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:千円、%)

区分		年度					
		18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度
収 入	1. 企 業 債	35,000		16,100		9,000	15,200
	2. 他 会 計 出 資 金						
	3. 他 会 計 負 担 金	6,350					
	4. 他 会 計 借 入 金						
	5. 他 会 計 補 助 金						
	6. 国 (県) 補 助 金		2,835	20,000		90,000	
	7. そ の 他						
	収 入 計 (a)	41,350	2,835	36,100		99,000	15,200
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)			20,000			
	前年度許可債で当年度借入分 (c)						
純計(a) - {(b) + (c)} (A)	41,350	2,835	16,100		99,000	15,200	
支 出	1. 建 設 改 良 費	75,235	12,285	35,114	20,000	100,000	16,000
	2. 企 業 債 償 還 金	45,600	57,690	58,806	59,946	57,577	56,523
	3. 他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金						
	4. そ の 他						
	支 出 計 (B)	120,835	69,975	93,920	79,946	157,577	72,523
差 引 不 足 額 (B) - (A) (C)	79,485	67,140	77,820	79,946	58,577	57,323	
補 て ん 財 源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	79,485	43,140	77,820	59,946	58,577	57,323
	2. 利 益 剰 余 金 処 分 額						
	3. 繰 越 工 事 資 金				20,000		
	4. そ の 他		24,000				
	計 (D)	79,485	67,140	77,820	79,946	58,577	57,323
補てん財源不足額 (C) - (D) (E)							
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)							
実質財源不足額 (E) - (F)							

- 複数の病院を有する事業にあっては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
- 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度
収 益 的 収 支	() 100,000	() 80,000	() 170,000	() 80,000	() 80,000	() 80,000
資 本 的 収 支	()	()	()	()	()	()
合 計	() 100,000	() 80,000	() 170,000	() 80,000	() 80,000	() 80,000

(注)

- ()内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰入金について」(総務省自治財政局長通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。